

北海道白糠養護学校

# 学校だより

第3号 令和2年9月25日発行

発行責任者 校長 仲條 正輝

## 【お問い合わせ先】

北海道白糠養護学校 学芸部

〒088-0351 白糠町和天別147-2

TEL/FAX 01547-2-5353

代表メール hakuyou@hokkaido-c.ed.jp

HP <http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/>

## 「変化に対応する」

北海道白糠養護学校 校長 仲條 正輝

例年より短い夏休みが終わり、8月17日より2学期が始まりました。休み中は、道東にしては暑い日が続きましたが、コロナウィルス感染症がまだまだ収まらない中では、例年とは違い日中家庭または学園にいるケースが多かったため、どのように児童生徒に時間を過ごさせるか苦労したことと思います。幸いにして、児童生徒、教職員全員が元気に2学期を迎えられたことに安堵と感謝をしています。2学期も本校の感染防止策に基づき、児童生徒が安心安全に学校生活を送れるように努めてまいりますので、引き続き保護者の皆様、学園の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2学期は知っての通り一年間で最も長い学期です。今年度は、1学期に予定していた旅行行事のいくつかは2学期にスライドしたため、9月にまとめて旅行行事が計画されています。各学部の見学旅行については、コロナウィルスによる影響を受け、行き先の変更や計画の縮小を余儀なくされましたが、関係者で知恵を絞り、感染リスクを極力抑えた計画を考えました。高等部3年生にとっては、学校生活で最後の旅行行事となる見学旅行の行き先を東京ではなく、やむを得ず道内に変更いたしました。道外での貴重な経験の機会は失われましたが、代わりに故郷である北海道を見直す機会を作ることができました。この旅行で、釧路管内以外の都市の様子や北海道が誇る雄大な自然や素晴らしい景色等を記憶に留めてほしいと願っています。

次に、1学期早々に中止を決定した運動会については、代替えとして肢体不自由教育校の体育大会の競技を各学部で行い、記録会として実施いたしました。2学期明けの8/17～9/11の間を記録を取る期間と決め、体育の授業を中心に何度も練習して、記録を取りました。何度か児童生徒が取り組む様子を参観しましたが、どの学部でも一つ一つの競技に熱心に取り組む姿が見られました。また、先生方の熱の入った指導や教材にも様々な工夫が見られ、感心し、頭の下がる想いになりました。記録会の最終的な結果は、この原稿を書いている時点では分かりませんが、練習の成果を一人一人が発揮できたと後日報告できればと思います。

また、10月下旬には、学習発表会が計画されています。こちらも今年度は、感染防止を一番に考え、ご来賓等の出席を見送り、保護者の人数を制限して実施を予定しています。観客につきましては、例年より少ないと思いますが、児童生徒の普段の様子や新しく取り組んだことが分かるような工夫等を盛り込んだ発表内容を考えていますので、ご期待ください。

新学習指導要領では、変化の激しい時代に対応できる人材の育成が謳われています。新学習指導要領が整理されたときには、パンデミックによる社会への甚大な影響については想定外だったと思いますが、今まで当たり前だったことが当たり前でなくなることは日々起こっています。学校現場も同様に今まで当たり前できていたことが中止や変更を余儀なくされています。残念な部分もありますが、見方を変えれば、方法次第ではもっと充実できる部分もあると思います。遠くには行けませんが、代わりに身近にある大切なものを見直すチャンスに繋がることもあると思います。当面は試行錯誤の連続が続くと思いますが、コロナ禍を嘆くのではなく、コロナ禍を逆手にとって、変化に対応できる児童生徒を育てることや変化に対してもびくともしない学校づくりを進めていきたいと考えます。

# 「令和2年度 40周年記念学習発表会」 開催のお知らせ

今年度の学習発表会を下記のとおり開催いたします。児童生徒たちが普段の学習の成果をステージ上で元気に発表します。

たくさんの方々にお越しいただき、児童生徒の頑張りをご覧いただきたいところではあります。今年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来賓のみなさま、ならびに地域のみなさまのご来場をご遠慮いただく運びとなってしまいました。楽しみにしていただいていたみなさまには大変申し訳ありませんが、なにとぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

ご多用の中かと思いますが、保護者のみなさまのご来場をお待ちしています。

- 〔日 時〕 令和2年 10月31日（土） 9：30～12：00
- 〔場 所〕 北海道白糠養護学校体育館 他
- 〔テーマ〕 「チャレンジ！えがお！みんなで心を一つにする！！」
- 〔テーマ曲〕 「Pretender（プリテンダー）」
- 〔内 容〕
  - ・ステージ発表（児童生徒たちの普段の学習の成果を発表します。）
  - ・作品展示（本校児童生徒や保護者、教職員の作品を展示します。）
 ※今年度は交流校の作品展示は行いません。

（学芸部：久保 真希）

# 令和2年度 セミナーのお知らせ

毎年夏期休業中に本校で実施していたサマーセミナーですが、コロナウィルス感染拡大防止のため、今年度は中止とさせていただきます。

つきましては、サマーセミナーの代替として、昨年度保護者の皆様や教職員よりご要望のありました「生涯スポーツ・パラスポーツ」をテーマに、北翔大学の阿部 達彦教授よりご講演を頂くこととなりました。冬期休業を目処に講演のDVDを配布しますので、どうぞご視聴いただき、ご質問やご感想等をお寄せください。詳細は追って連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

（研究部：柳田 花菜）

## ～ 後期の主な行事予定 ～

9月30日（水）～ 高等部見学旅行  
 10月 8日（木） 歯科検診  
 10月15日（木） 白糠高校との交流  
 及び共同学習  
 10月16日（金） ハッスルモーニング  
 （全校集会）  
 10月31日（土） 学習発表会  
 11月 9日（月）～ 児童生徒会委員会・  
 役員会募集期間開始  
 11月12日（木） 茶路小中学校との  
 交流及び共同学習

11月18日（水） 第2回 参観日  
 立会演説会  
 12月25日（金） 第2学期終業式  
 1月20日（水） 第3学期始業式  
 2月 1日（月） 高等部入学者選考検査  
 2月20日（土） 第3回 参観日  
 3月 4日（木） 卒業生を送る会  
 3月 7日（日） 卒業式  
 3月24日（水） 修了式



# ～各学部の様子～

## 小学部

今年度の小学部は、6年生の児童2名と教員5名の小さな集団ですが、毎日笑いの絶えない、楽しくパワフルな毎日を過ごしています。

図画工作の学習では、1学期末から描き続けてきた作品10点を展示した「作品展」を校内で開催しました。果物や野菜、人物などの多彩な作品のポイントを、自分なりの表現で説明をしたり、見に来ていただいた方との会話を楽しんだりと充実した取り組みとなりました。今後も、自分を表現する場を積極的に設け、児童が達成感や充実感を感じながら、生き生きと学習に取り組めるような指導に努めていきます。



(小学部：佐藤 茂枝美)

## 高等部

今年は、運動会や北海道肢体不自由養護学校体育大会（以下、肢養体）が中止となったため、本校で独自に、肢養体の競技種目で『記録会』を行うことになりました。全校で一斉に競技するのではなく、学部や小集団で記録をとる形で参加し、高等部では9月3日（木）と10日（木）に2回実施しました。どちらか良い方の記録が本番の記録となりますが、1回目の計測結果から「もっと練習したい。」「次は、こうしてみよう。」等の声がたくさんあがり、10日に向けて自主的に朝練習をしたり、競技中のコツを考えたり、自分たちで工夫して取り組みました。全校での結果発表は月末の予定で、生徒たちは結果発表が待ち遠しいようです。



テニスボール的あて



バレーボール正確転がし

(高等部：伊藤 ルナ)

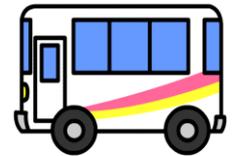
## 中学部

中学部の生活単元学習では、ペットボトルやマヨネーズなどの空き容器に飾り付けをしてオリジナルの水鉄砲を作り、どのようにすれば水鉄砲で遠くまで水を飛ばせるか、実験を行いました。容器を押す力を加減したり、持つ角度を変えてみたり、遠くまで水が飛ぶように工夫をして、楽しく競い合っていました。時折差し込む日差しと水しぶきに、夏を感じながらの学習となりました。



(中学部：岩井 由貴子)

# 見学旅行 in KUSHIRO



9月2日から4日に2泊3日で、中学部3年生の2名で見学旅行に行ってきました。

1日目はイオン釧路店でお土産などの買い物をしました。釧之助本店の水族館ぷくぷくでは、魚がえさに近づいてくる様子を見たり、タッチプールでヒトデやカレイなどに触れる体験もしました。

2日目は、中央図書館で普段展示していない本や新聞の倉庫を見せてもらったり、車いすで利用しやすい設備について教えてもらったりしました。防災センターでは、いろいろな消防車の種類や設備について説明してもらい、消防服を着せてもらったり、放水ホースを持たせてもらったりしました。地震体験では、災害時に身を守るためにはどうしたらよいか日頃の学習を振り返りながら、しっかり確認することができました。



3日目は、郵便局で切手を買ひ、局長さんから貯金箱のプレゼントもいただきました。帰りのバスや学校に着いてから、旅行の感想を聞くと、「楽しかった」という言葉を聞かせてくれたり、笑顔を見せてくれたりしていました。中学部のいい思い出となってくれたらと思います。

(中学部：千葉 みちる)